

科目名		担当者氏名	授業形式	単位	開講時期
特別研究		専任教員		4	1年～2年
必修・選択	修了要件	必修			
	資格要件				
学習目標	<p>将来、専門職業人として高度な知識や技術を有する学士となるために、興味をもつ分野で課題を選び研究し、学術論文の形式で、特別研究論文を作成する過程で問題発見・解決能力、情報活用能力、プレゼンテーション能力を習得する。</p> <p>学士の学位を取得するものはこの論文を、大学評価・学位授与機構に提出して審査を受ける。</p>				
授 業 計 画					
回	項 目	授 業 内 容			
1		<p>1. 指導教員のもとで研究課題の設定、資料の収集、文献検索、研究調査、実験などを行い、1人1編の特別研究論文を作成する。</p> <p>2. 特別研究論文は原則として、次の順に記載する。 (1) はじめに（緒言）あるいは目的 (2) 方法と材料 (3) 結果 (4) 考察 (5) おわりに（結語） (6) 文献</p> <p>〔提出物〕 論文・抄録・プレゼンテーション用原稿はパソコンにて作成して2年次における指定日時までに提出する。 詳しい書式は後日通知する。</p>			
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
参 考 書					
学習上の注意（自己学習、学外学習など）		各人が課題を追究するため、積極的に指導教員と議論するよう心がけること。			
評価の方法と時期		<p>(1) 研究目的の明確性・具体性、方法の科学性、考察の独自性、結論導入の正確性などにより総合的に評価する。</p> <p>(2) 学内審査により優秀論文に推薦されたものは卒業研究発表会で発表する。</p>			